



ごあいさつ

## 都市の持続可能性と 課題解決に向けて

都市科学・防災研究センター  
所長 重松 孝昌

世界の人口は増加し続け、2050年までにはその約70%が都市部で生活すると言われています。多くの人々が集まることで活気がうまれ社会は発展しますが、想定外の災害に見舞われると、一瞬にして多くの人命や財産を失う恐れがあります。また、食料をはじめとする物資やエネルギーなどは都市部だけでまかなうことはできません。都市の課題は人類全体の課題であり、都市の持続可能性を考えることは世界の持続可能性を考えることに繋がります。

加えて、日本では人口減少とともに少子高齢化が進み、生産者人口問題や高齢者問題、貧困問題、在留外国人対応など多くの課題に直面しています。

都市科学・防災研究センターは、都市の持続可能性の追求と課題の解決に科学的知見を活かし、第一線を担う人材を育成し、学界と都市の活動を結びつけ、包括的で安全な都市を実現し、社会に貢献します。

### センター設立目的

- ① 都市科学・防災研究の拠点としての役割を果たします
- ② 科学的知見の深化と理論の発展に努めます
- ③ 都市科学・防災研究を第一線で担う人材を育成します
- ④ 学知世界のみならず都市で活動する人々と協働します
- ⑤ 包摂的かつ安全、レジリエントで持続可能な都市実現に寄与します

### SDGsへの貢献



## 先端的都市研究拠点 - 共同利用・共同研究拠点 -

都市科学・防災研究センターは、「先端的都市研究拠点」という名称で、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」のひとつに認定されています。

「共同利用・共同研究拠点」は、全国の研究者が、個々の研究機関の枠を越えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を共同で利用したり、共同研究を実施したりするための仕組みです。

### 【連携協定先】(2023年8月現在)

インドネシア芸術大学、ガジャマダ大学文化科学部、ソウル特別市城東区、チュロンコン大学芸術学部、上海交通大学都市研究センター、ダンバ、韓国都市研究所、ソウル市立大学校都市人文学研究所、ソウル研究院、韓国保健社会研究院、ソウル国立大学アジアセンター、国立台湾大学建築與城郷研究科

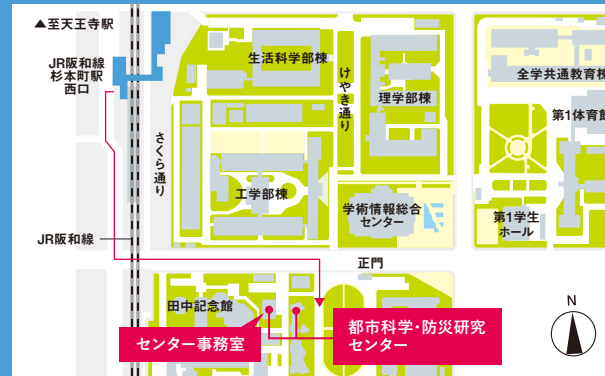
特定非営利活動法人ネパール避難所・防災支援の会(NEPA)

国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター  
一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会

堺市、富田林市、大阪港湾局

### アクセス

- ・ JR阪和線杉本町駅から徒歩約5分
- ・ Osaka Metro御堂筋線あびこ駅から徒歩約20分



大阪公立大学 都市科学・防災研究センター

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

Tel: 06-6605-2071

E-mail: urec-toshi\_office@ml.omu.ac.jp

<https://www.omu.ac.jp/orp/urec/>



大阪公立大学 都市科学・防災研究センター  
Urban Resilience Research Center

## 都市シンクタンクの機能の一部を担う 学際的研究組織として



都市科学・防災研究センターは、教育・研究・社会貢献という3つの機能を総合的に担い、学内外の部局・機関と連携し、都市シンクタンクの機能の一部を担う学際的研究組織です。

現代の都市は多岐にわたるリスクや危機に直面しています。都市科学・防災研究センターは学内外の知識と資源を結集し、産官学民が協力して都市のリスク管理とガバナンスに関わるプラットフォームを形成し、教育、研究、社会貢献の分野で包括的な取り組みを行っています。

同時に、国内外の都市科学と防災研究の拠点として、包括的で安全かつレジリエントな都市の構築と持続可能な生活環境の実現を目指しています。この目標に向かう過程で、克服すべき諸課題の解決に資する科学的知見の深化や理論の発展を推進します。その成果を地域社会および国際的な舞台上で広く共有し、発信していきます。

また、将来に向けて、都市が直面するリスクや危機に適切に対処できる能力を備えた専門家の育成にも注力しています。同時に、行政機関や民間団体、住民と協力しながら都市の持続可能な未来を実現するための実践的な取り組みを推進し、貢献していきます。

## 5つの活動の柱

### 1 都市研究

包摂型アジア都市研究、都市防災研究、コンフリクトマネジメント研究

少子高齢化、貧困と排除、国外からの越境的な人口移動に伴う多文化共生の課題、地球環境の変化に伴う複合災害リスクの拡大など、都市が直面している諸問題の解決に向けた学際的研究などを推進。



### 2 研究者・人材育成

現地実践セミナー、防災座談会、防災士養成

専門領域の枠を超えた人材交流と共同研究・若手人材の育成、地区防災計画や防災拠点整備に対応できる防災リーダーやプランナーなどの人材育成。外国籍住民などとの多文化共生にかかわる研究。



### 3 コミュニティ育成

まちなかプラザ、社会包摂、コミュニティ防災人材ネットワーク

都市における「人」や、「コミュニティ」における関係性の欠如によって生じる諸課題の解決に向けた、対話の場の構築。防災やコミュニティに関連する行政、企業、学校、NPO等のネットワーク化。



### 4 社会連携

都市文化、国際都市ネットワーク、地域防災力の向上

アジア諸国の都市科学および防災にかかわる共同研究・人材育成を推進し、人材交流と情報共有を目的としたレジリエント都市の拠点形成。国内では都市自治体との連携を強化し、相互交流、政策形成支援に取り組むとともに、NPOなどの民間団体との連携に基づいた現場支援型研究を推進。



### 5 研究基盤整備

都市文庫、写真アーカイブ、防災ミュージアム

都市研究に関する学術出版物の刊行。都市問題に特化した図書資料、古写真、災害知を継承するためのデータベースや防災教育教材を収集し、教育運用。



### 新たな研究知の創出

社会と連携し、都市に潜む新たな課題を見つけ出す

### 総合知の醸成

課題解決に向けた専門領域の枠を超えた共同研究

### 研究知の社会実装

コミュニティや人材を育成するためのネットワークを構築

### 都市レジリエンスの向上

コミュニティ防災を基盤に災害時のレジリエンスを向上

